

1983-07-25--08-06 I år kom igen  
 utländska kendokas med entusiasm och  
 skratt – Kendo Nippon



今年もやってきた外国剣士の意気込みと実力

上の写真をご覧ください。モップを手に、せつせと床掃除に励むガイジンさんたち。いささか疲れぎみの人もありますが、皆さん、イヤイヤやっているわけでもなさそうです。これは、もっか日本で合宿中の外国剣士の面々なのです。ここ埼玉県北本市の解散会研修センターに集まったのは、アメリカ、カナダ、スイスなど十六カ国から五十五人、ほとんどがレッキとした有段者です。女性も四人参加しておりますが、ドイツのデイド・デムスさんなど、高校生の身空で二段の腕前というから立派ではないですか。もちろん、皆さん、物見遊山でやってきたわけではありません。「剣道の心は友情、尊敬などを教えてくれる」精神鍛錬の場として最高です」と、至極マジメな人はかりなのです。当然のことながら、朝六時半から夕方までミツチリ続く稽古でも目の色が違います。夜には映画「剣道入門」を鑑賞したり、質疑応答があります。「無心」という言葉を理解させるのに、通訳がひと苦労する場面も見られましたが……。ともかく、わが日本剣士たちもウカウカしてはおられませんぞ。



Figur 1 - Mats Wahlqvist längst till höger i övre bilden

Utländska besökare, 55 personer, från 16 länder varav 4 kvinnor tränar kendo i Kitamoto, Japan.  
En träning i värden Gedatsukais anda om vänskap och respekt.  
Det tränas från morgon till kväll och man har hjälp av tolkar.<sup>1</sup>



2 av 2

Figur 2 - Per Bjerlow till vänster i den övre högra bilden

<sup>1</sup> Översättningshjälp Per Bjerlow